

法人（事業所）理念		「いま」必要な体験を通して「やってみよう」「もっと」の気持ちを子どもとご家族と職員と一緒に育みます。		
支援方針		親子のやりとりを大切に、気持ちの共有ができる場をつくれます。 見る・聞く・触る・感じるなど、子どもの感覚を大切に「もっと」と思う気持ちを育てます。 困った時に大人や友だちに助けを求められる関係を築きます。		
営業時間		9：00から17：00まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	規則正しい生活が基盤となるよう家庭と連携を図り（生活リズム表活用）一日の生活状況を共有・日常生活を見直し、食事・運動・睡眠が健康的に営まれていくように支援していきます。		
	運動・感覚	排泄、食事、衣類の着脱等必要な基本的技能を獲得できるよう個々に合わせて支援をしていきます。		
	認知・行動	苦手な分野の動きは自然に身に付かないだけでなく年齢を重ねるごとに問題が複雑化する傾向があります。粗大運動や微細運動の苦手さに早いタイミングで対応し、教え方を工夫し練習を重ねていきます。		
	言語・コミュニケーション	幼児期の集団生活は初めての経験が多くむずかしい時期でもあります。安心して参加できる集団構成や活動内容を工夫し、職員が付き添って適切な援助を行うなどして、情緒の安定を図りながら、それぞれの場面に対応できるように支援します。予想される事態や状況を予告したり、事前に体験（練習）できる機会を設定し、職員が子どもに適したかわりをしていくことで成長を促していきます。		
	人間関係・社会性	聞く力の発達が生活年齢よりもゆっくりの子が多いので、見てわかる情報を添えていきます。その結果、理解する⇒自信をもって行動する⇒認めてもらうという一連の経験ができ、自信と大人への信頼を育てていきます。		
家族支援		未就園児の親子通園（毎週水・土曜日）単独通園（年少～年長）家族活動参加時間（わくわくタイム）毎週月～土 おしゃべり会（保護者同士の集まり各グループ）保護者会（年数回 外部講師を招き勉強会 就学に向けてなど）		
移行支援		保健センター保健師との情報共有、事業所利用開始からその後の情報共有、移行先の検討など 就学後の生活を想定した事前練習 就学に向けた情報発信 就学先との連携（サポートかけはしシートの作成と情報共有）		
地域支援・地域連携		併行通園先の園との情報共有（相談支援事業所と連携して実施）ケース会議への参加		
職員の質の向上		外部講師（臨床心理士・公認心理士）による巡回訪問・カンファレンス 内外部研修参加 配信研修受講		
主な行事等		保護者会		